

ようじえんだより 2023年度7月号

十日町幼稚園 〒948-0083 十日町市本町西1丁目253番地
Tel:025-752-2068 Fax:025-752-2189

7月主題『心ひらかれて』

主題聖句：主よ、朝ごとに、わたしの声を聞いてください。 詩編5編4節

- ☆ 0歳児：保育者の祈りやさんびかに親しむ。暑いので汗を流してもらい、心地よさを感じる。砂や泥、水に触れ、その感触を味わう。(保育者は) こまめな水分補給、着替え、沐浴などで心地よく過ごせるようにする。
- ☆ 1～2歳児：祈りや讃美を喜ぶ中で神さまと出会う。自分と同じようなことを楽しむ友だちの存在に気づく。水・土・泥などに触れ、感触を楽しむ。(保育者は) 水分補給や体調の変化を見逃さず、気持ちよく過ごせるようにする。
- ☆ 3歳児：欠席の友だちのこと、また自分の身の回りの心配や喜びを覚えて祈る。保育者や友だちとの関わりの中で、いろいろな思いを表す。砂、泥、水などの感触を楽しむ。(保育者は) 表せない思いにも心を寄せ、子どもの存在そのものを受け止めていく。
- ☆ 4～5歳児：聖書物語に繰り返し触れ、一人ひとりの感じ方で思いを表現し、静かに受け止めたりする。互いの思いを伝えあうことを喜ぶ。体をいっぱい動かし、遊びを存分に楽しんだり、絵本やお話を通して物語の世界を楽しむ。(保育者は) 水遊びや暑さ対策など、安全に生活するための留意事項を事前に共有し理解を深める。

乳幼児期の子育てにおいて大人が気をつけること③～「過保護」と「過干渉」～

数年前に亡くなりましたが、児童精神科医の佐々木正美先生という方がいらっしゃいました。日本の乳幼児教育の発展に児童心理の専門家の立場から多大な貢献された先生ですが、佐々木先生が生前おっしゃっていた有名な言葉に「『過保護』でも子どもは問題なく育ちます。でも『過干渉』はいけません。子ども自身の生きる力を奪うからです」があります。

「過保護」というと弱くだらしない子どもが育つイメージがあるかもしれませんが、佐々木先生がおっしゃる「過保護」は「子

もの求めに応える」ということです。特に「抱っこ」に代表されるスキンシップをとることと、子どもが話す言葉に耳を傾けることによって子どもが精神的に安定するのです。もちろん無理なことは無理と毅然と伝えることは必要ですが、抱っこなどの小さな求めに応えてもらった子ほど見境のない物への執着はあまりみせないそうです。

むしろ子どもが求めてもないのに、いろいろなことを先取りし用意するような「過干渉」は要注意です。もちろん提案や促しはあってもいいですが、誰の人生も代わってあげられない以上、自分で決める習慣は小さい頃から身につけておきたいことだと思います。

年間主題『ともにつむぎだす～希望の中で～』

主題聖句：キリストはおいでになり、遠く離れているあなたがたにも、また、近くにいる人々にも、平和の福音を告げ知らせられました。
新約聖書 エフェソの信徒への手紙2章17節